



GWの休みの様子。連絡帳や直接お話を聞き、楽しい様子を伺いました。気温も一気に上がり、新しい環境の疲れや連休明けということで、体調を崩す子どもたちも多かったです。個々の生活リズムを大切に、その日の体調にも応じて子どもたちの無理のないように過ごしていきます。

まだまだ新しい環境に不安を感じ、お家の方との朝のバイバイの時に泣いてしまう子どもたちもいます。しかし、バイバイした後は「お友だちのあそびの様子を見て...」「僕もー!!」「私もー!!」とやりたいことを見つけたり、保育者と一緒にあそび中で「で機嫌で過ごしています。日々の生活の中、ちょとした見通しを持って過ごすようにもなってきました。月齢(高)70の子やめたちは「トイレへ行く時「パンツよっておいで」と言う自分のロッカーへ行き、「どこかなー?」とぞぞぞ探し、トイレまで持って来る姿も増えてきました。パンツやズボンの着脱もまだまだ自分たちではうまくいきませんが、子どもたちの「ジブンデ」や「やりたい」の思いや姿を大切に部分的に介助しながら「できた!!」という満足感を味わえるように...と関心しています。月齢(低)の子やめたちも自分のお口拭きやエプロンを選んだり、ご飯を食べる前は手を洗う、トイレに行くなど...しっかり自分の「タモリ」を持って生活しています。お外へ行くと分かる「帽子どこかなー?」とロッカーの前をウロウロ...自分の帽子を見つけた(時には近くにあり帽子に手を伸ばそうとする子どもの姿もあります)「あつた!!」と嬉しそうな表情で頭の上にちょこんとのせて子どもたちなりに自分で帽子をかぶろうとしています。



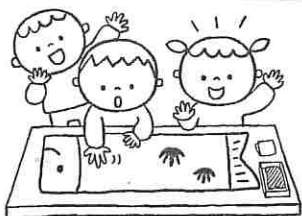
1歳児の時期は...

生まれた月によって発達は大々違いますが、1歳児の時期はよく聞かれる「イヤイヤ期」突入の時期です。大人にしてもらうのではなく「ジブンデ」という気持ちが始まり、ジブンデ歩きたい、ジブンデ食べたい、上手いかわないことがまだまだ多くても大人のしていることを見て「色んなことをジブンデやってみたくなる...」など、そんな姿がたくさん見られるようになってきます。大人が「おかれ」として手を伸ばすものなら泣いたり、怒ったり、大人の誘いかげに知らんぷりをすることも多いです。それに加えて、自分の思いや要求を、言葉では上手く伝えられないので「返ってくる言葉が全部『イヤ!!』」そんなことが多々あります。これまでとはちがって「ちょびり...!! (いや、と〜ても)せやくくなってくるのよ、この時期ならではの姿です。

「自分ほこりたい」という思いや「タモリ」(自己主張)がはまりと出てきた証拠でもあります。自分の思いを安心して出せる、それを「分かってくれる」信頼できる大人の存在が大切です。その中で、気持ちを切り換えたり、折り合いをつけたりするようにもなっていきます。

この一年は、子どもたちが自分の思いをいっさい出せるような関係を築き、「ジブンデ」の意欲を大事にしながら保育を進めていきたいと思っています。もう大変! どうすればいいの?!! と困り、悩むこともあると思いますが、そんな時には保育者に「遠慮せず」声を掛けて下さいね。

(武長)



* 5月18日(金) すみれぐみのこん談会があります。

保育園での様子や家庭での姿を話す場にしたしたいと思います。

お忙しい時間とは思いますが、ぜひご参加下さいね。

(西口)